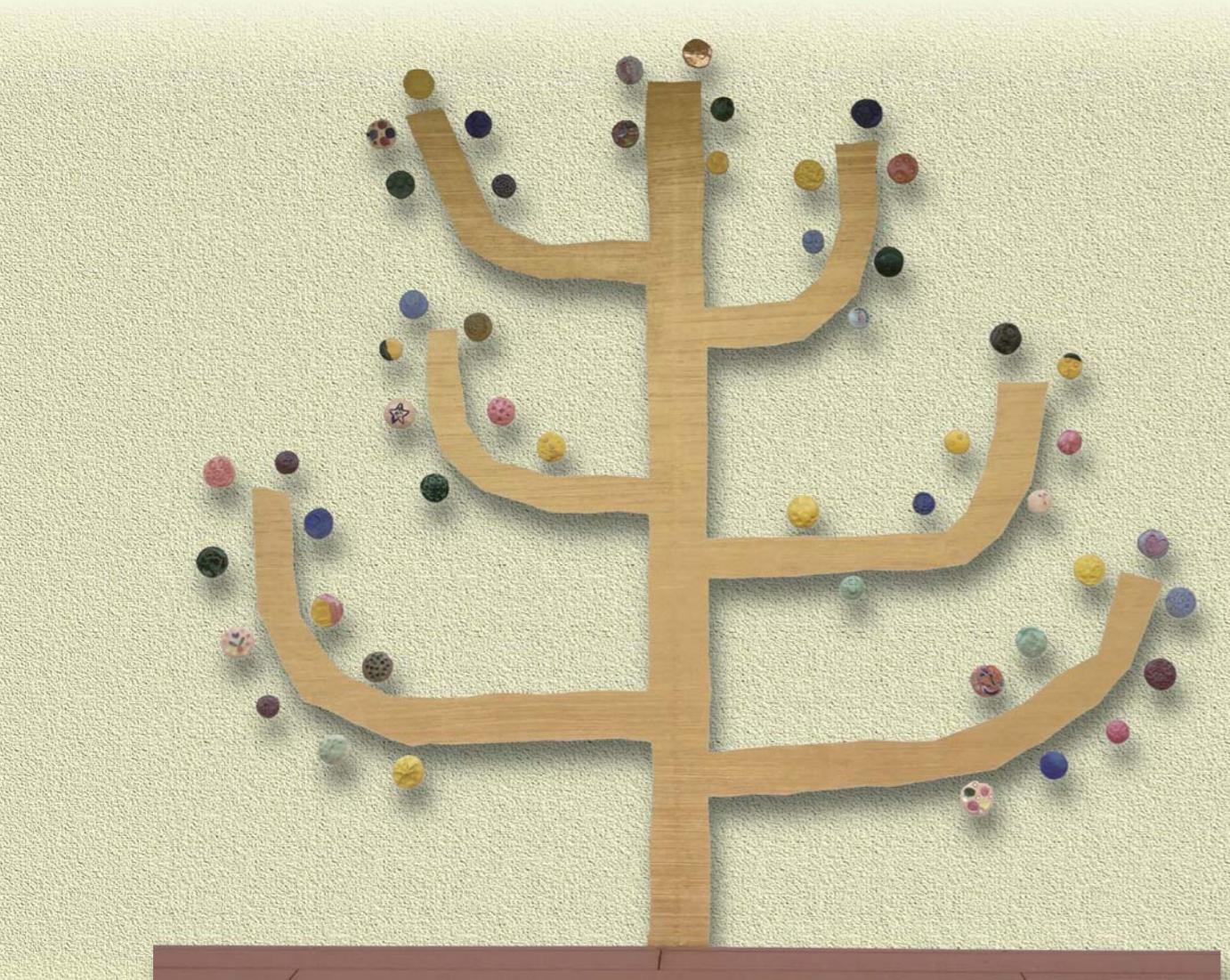


OHANA

社会福祉法人太陽会広報誌
OHANA
Quality of Lifeへの貢献
2016 vol.42 夏号



認定こども園OURS 認定こども園OURSの使命
しあわせの里 OURSを彩るタイル壁
らんまん 初夏の遠足
めぐみの里 来て!見て!楽しいディLife

まんぼう コーラス慰問
たいよう 先生はご利用者
安房地域医療センター DMATの活動
安房医療福祉専門学校 オープンキャンパス

OHANA

夏号

2016
vol.42

夏号

発行責任者／太陽会経営管理本部総務部長 茂木 修
発行担当者／広報委員：大和田・岡崎・加々美・川井・眞田・鈴木・梨岡・野村・吉井
印刷・編集協力／角フラサー印刷

社会福祉法人 太陽会

〒296-0124 千葉県鴨川市大幡1222-1
TEL 04(7098)3700 FAX 04(7093)6320

DMATとは、医師・看護師・業務調整員で構成された災害派遣医療チームである。阪神淡路大震災の教訓をきつかけに発足し、厚生労働省が定めた研修と訓練を受けた専門的な医療チームとして、大地震や大事故などに派遣され、救助現場での救急処置や被災病院の支援、病院間の搬送支援などを実行。当院では平成26年にDMATチームが登録され、昨年の関東・東北豪雨の際に茨城県への出動要請を受け、冠水により孤立した病院避難のための支援活動を行った。



DMATと、医師・看護師・業務調整員で構成された災害派遣医療チームである。阪神淡路大震災の教訓をきつかけに発足し、厚生労働省DMAT事務局より

出動要請を受けた当院DMATステイックチーム1名が『関東ロジスティックチーム』の一員として熊本県へ派遣された。埼玉県の入間基地から自衛隊航空機で現地へと派遣された関東ロジスティックチームは、DMAT調整本部の要員として、熊本県庁災害対策本部や自衛隊・消防などの関連機関と連携しながら、病院支援のための情報収集や資源の調整、管下で活動するDMATの指揮等を行った。関東ロジスティックチームの活動は、一次隊、三次隊へと引継がれDMATによる支援活動は6月2日をもって終了した。災害は5つ起じるか分からぬ。当院DMATは災害時にひとりでも多くの命を救うため、平時から千葉県内のDMATと連携を取り合ひながら訓練・研修などの活動に積極的に参加している。



業務調整員 太田麻衣子



編集後記

今年も太陽会のタイムリーな話題をお届けできました。

■開催日
* 6月11日 (土)
* 7月23日 (土)
* 7月30日 (土)
* 7月31日 (日) 社会人中心
* 8月20日 (土)

■午前の部 10時00分から (受付の間30分)
■午後の部 13時20分から (受付12時50分)
※病院見学 ... 約回り1時間75名
※寮見学 ... 約回り1時間50名
おどり。

■場所 館山市勝浦越80-1
■申込み・問い合わせ
■E-Mail: office@awa-school.ac.jp
http://www.awa-school.ac.jp/

安房地域 医療センター

DMA Tの活動

《お問い合わせ》
安房地域医療センター
☎ 0470 (25) 5111

安房医療福祉 専門学校

オープンキャンパス 開催!!

《お問い合わせ》
安房医療福祉専門学校
☎ 0470 (28) 5100



受験情報はむち
ろん、同校の特色
や奨学生、キャン
パスライフルについて
の説明のほか、
白衣で記念撮影、
看護体験、病院見学、ねむのいべ
ントが盛りだくさんね。乐しく
学校のいいを知りたいとかじゃれ。
参加者全員にリハビチ（無料）も
プレゼントられます。



介護老人保健施設 たいよう

先生はご利用者

《お問い合わせ》
介護老人保健施設 たいよう
☎ 04 (7093) 7711

たいようデイケアでは、日々のリハビリの他に様々なクラブ活動を行なっている。

「カラオケ」「詩吟」「書道」この3つのクラブはご利用者が先生となり、運営されている。

カラオケクラブは「たいようケアのご利用者」

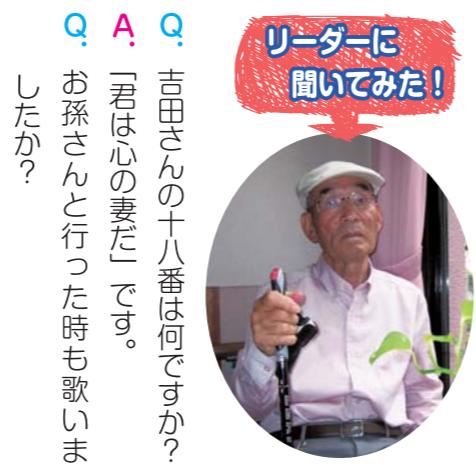
通所リハビリテーションでは、機能訓練に加え「したい」「してみたい」「うまくできるようになりたい」と思う目標を達成する為に支援を致します。たいようで楽しみをみつけてみませんか。



「孫とカラオケに行きたい」という目標を達成する為にリハビリスタッフが中心となり、カラオケクラブ発足に向けて活動が始まつた。

カラオケ機器の操作から備品の準備まで訓練を行なつた。ご利用者と話をしたり歌う事、日々のトレーニングで3か月後には身体機能も回復し、お孫さんと一緒に歌に行く事が出来た。

クラブを楽しみに集まるご利用者が、また1人また1人と増え続けている。



A. 「はじめに5曲位歌いました。」「カラオケクラブの皆さんは楽ししそうですね。」「楽しい時間を過ごしてもうえたらと思って、人の為になりたいしね。私なりにやっています。」

♥ 吉田さんのみんなを思う優しさが伝わってきた♥

毎月みんなで作っています!!

デイケアでは4月に昼食メニュー表を作りました。

ご利用者の作品を生かしたいと「いいでリニュー」という思いでリニューアルした。こんなに素敵なメニュー表が完成した。来月はどうなる絵にしようかな。



仲良く記念写真

認定こども園 あわーず OURS

認定こども園 OURS の使命

《お問い合わせ》
認定こども園OURS
☎ 04 (7099) 0800
mail kosodate-ours@s-taiyou-kai.jp

限られた人数や設備で、24時間365日、安全、安心にお子さんを預かることが出来るように、様々な工夫をしている。

1. iPad 端末による 「登園・降園管理システム」 の導入

亀田信介理事長は、「両親が就労しながら2人以上の子どもを安心して育てるため、日本国内のどこにもないこども園を鴨川を作る」と明言し、今春「認定こども園OURS(以下OURS)」の開園にこぎつけた。

現状、公的に展開出来る保育事業(延長保育や休日保育等)を、最大限に応えられるのがOURSの強み。あらゆるシチュエーションで保護者が安心してお子さんを託すことができるよう、シムレスサービスを提供することを目指している。こうしたOURSの活動が、水に石を投げ込むと波紋が広がるように、しっかりと行動で示し、日本の子育て文化に変革を起こしたい。

園児の人数が多く、長時間の預かりや、保育事業が複数絡み合っていることから、システムにより管理をし、クラス担任が教育・保育に集中出来るよう配慮している。

2. 感染予防

24時間365日、開園するためには、感染症対策は必須。園が学級閉鎖になれば、園の存在意義にかかる。

その為に、園内全てセンサー式の手洗い場や、全自动のトイレを導入し、園児や職員が、手を触れることなく使用出来る



3. 教育・保育の導線

セブトは「ひみつ基地」子どもが主役の冒険の舞台。クラス名もゲームのようなワクワクとした名称に加え、保護者が室内に入らなくても、荷物が教育・保育に集中出来るようが教育・保育に集中出来るよう配慮している。

F BなどのS N Sを利用した園からの情報発信に力を入れ、教育・

クラブや、ボルダリング等、毎日の生活の中でも子どもが周囲の環境に主体的に関わりたい、と思えるようなしきけをしている。



から的情報発信に力を入れ、教育・保育を可視化し、こども園、そして保育教諭の意図を明確にしている。是非ご覧頂き、「いいね」をクリックしてもらえると嬉しい。

Facebook について

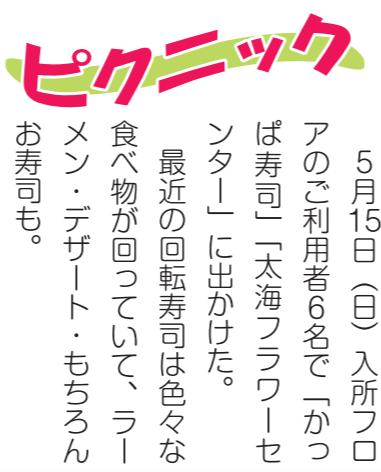
認定こども園OURSのF B(フェイスブック)ページ、またはブロ

グでは、認定こども園OURSの園生活を公開し、ひいてはこども園というものを一般の方々にも知って頂く為に、文章や写真を構成している。



FBなどのS N Sを利用した園からの情報発信に力を入れ、教育・

保育を可視化し、こども園、そして保育教諭の意図を明確にしている。是非ご覧頂き、「いいね」をクリックしてもらえると嬉しい。



5月15日(日) 入所フロアのご利用者6名で「かつぱ寿司」「太海フランチャイズセンター」に出かけた。

最近の回転寿司は色々食べ物が回っていて、ラーメン・デザート・もちろんお寿司も。

「たまにはこついつ食事も良いわね。」と喜ばれていた。太海フランチャイズセンター園内で花を見て、カフェに立ち寄りコーヒーを飲んでひと休み。ちょっとオシャレなご利用者も居た。

「風が強いのが残念だったけど、楽しかった。ありがとう。」「感謝感激雨あられ」と笑ってく

れただご利用者の笑顔を見て、職員もとても楽しい1日だった。



認定こども園 OURSでは、乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業を行っている。

取り組んでいる内容として、子育てに関する相談を随时受け付ける「相談受付」、パフォーマンス・親子料理教室などが楽しめる「育児サークル」がある。

また、「無料開放」として、OURSの入り口付近にある子育て支援センターでは、月曜日（10時～16時）、金曜日（13時～16時）を無料で一般開放しており、誰でも自由に入りができるようになっている。

子どもたちが楽しめる玩具や本が設置されている他、曜日によって「ボールプールで遊ぼう」や「鉄棒をしてみよう」「たくさん絵本を見よう」など、異なるプログラムを用意している。親子で一息つける場所となっているので、気軽に利用してほしい。



認定こども園 OURSでは、乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業を行っている。

取り組んでいる内容として、子育てに関する相談を随时受け付ける「相談受付」、パフォーマンス・親子料理教室などが楽しめる「育児サークル」がある。

また、「無料開放」として、OURSの入り口付近にある子育て支援センターでは、月曜日（10時～16時）、金曜日（13時～16時）を無料で一般開放しており、誰でも自由に入りができるようになっている。

子どもたちが楽しめる玩具や本が設置されている他、曜日によって「ボールプールで遊ぼう」や「鉄棒をしてみよう」「たくさん絵本を見よう」など、異なるプログラムを用意している。親子で一息つける場所となっているので、気軽に利用してほしい。

子育て支援事業
支援センターでは、毎週金曜日（10時30分～12時50分）、親子で参加できる、サークルイベントを行っている。

子育て支援事業の一環で、OURSの子育て支援センターでは、毎週金曜日（10時30分～12時50分）、親子で参加できる、サークルイベントを行っている。

育児サークル イベント

歌のお姉さんとお兄さんが、大型絵本・ピアノの弾き語り・パネルシアター・ペーブサートなど、わくわくするようなパフォーマンスを披露しながら、親子と一緒に楽しめるイベントとなっている。

また、お昼にはランチ提供、ランチが終わったらOURSの園児ではなくても

園庭で遊ぶことが出来るなど、様々な特典もついている。

事前予約制で、年間登録費が1000円、1回の参加が500円となっている。

質問や、入会など、隨時募集しているので、興味のある方は、ぜひ足を運んでいただきたい。

地域の子育てをする全ての皆様のお力になれ

るよう、使命感を持って展開していく。



平成28年3月26日（土）、コーラスグループカールモの皆さんが来

**ケアハウス
まんぼう**

コーラス慰問

《お問い合わせ》
ケアハウス まんぼう
☎ 04(7099)1331



所されて素敵なハーモニーをご利用者に聞かせてくれた。
明るく朗らかな歌声は心を穏やかにしてくれる。心に響く歌を皆さん一緒に声を出すことで、感動を共有させてくれた。
また「ふるさと」を歌った際には故郷を思い出したのかご利用者、目に涙を溜めている場面も見られた。歌の力で明日への希望と勇気をもらえたようだった。
カールモの皆さんありがとうございました。

まんぼうの中庭には四季折々の草花や明るい花が咲くように庭を整えている。廊下から花々を眺めることで気分がリフレッシュでき、季節と鴨川市の風土と共に生活していることを感じてもうれしい。

現在は黄色いバラの花が美しく咲き、中庭中がバラの香りに包まれている。

まんぼうの中庭には四季折々の草花や明るい花が咲くように庭を整えている。廊下から花々を眺めることで気分がリフレッシュでき、季節と鴨川市の風土と共に生活していることを感じてもうれしい。



剪定されたバラは玄関に飾られ、ご利用者だけでなく、ご家族をやすしく迎え入れてくれており、まんぼうの「おもてなし」空間を演出してくれています。



まんぼうでは週3回30分間自由参加で体操を行なっているが、椅子に座っての柔軟なども取り入れている為、貰った椅子は大活躍している。

これからもまんぼうの中で談話の場所や休憩場所としていきいきと過ごすための道具として有効に活用していきたい。



中庭

助成

千葉県共同募金会の助成により、集会室の椅子が新しい物になった。

ひと言…4月から機能訓練士として働かせて頂くことになりました。ご利用者の「笑顔」が見られると、また機能訓練を提供していくたいと思います。



- ～内 容～
・脚のストレッチ
・膝のばし 20回
・もも挙げ 20回
・立ち上がり練習 10回

職員紹介

氏名：高倉 耕平
職業：理学療法士

特別養護老人ホーム めぐみの里

来て！見て！
楽しいティ Life!!

お問い合わせ
特別養護老人ホーム めぐみの里
☎ 04 (7098) 1000

平成28年4月より、めぐみの里通所介護サービス（デイサービス）では、亀田メディカルセンターより理学療法士が専門的に理学療法士が専門的に行なってい。



今年の4月に開園した認定こども園「OURS（あわーす）」の壁に描かれた可愛らしい木の絵を彩ろうと、ご利用者が陶芸クラブの中でタイルを作成した。

大小様々な形の物やキャラクターなどの模様が描かれたタイルを作成し、「じも達の元気なイメージを表現しようと、カラフルに着色し仕上げた。飾られたタイルはOURSの外観を明るくした。ご利用者も完成にとても満足されたようだ。

**障害者支援施設
あわせの里**

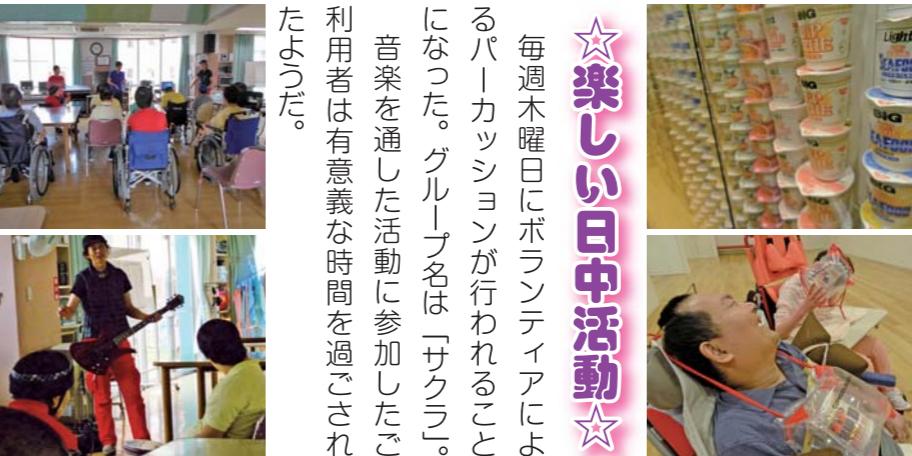
**OURSを彩る
タイル壁**

《お問い合わせ》
障害者支援施設 あわせの里
☎ 04 (7098) 1110

ご利用者2名が横浜方面への日帰り旅行へ出かけた。カップヌードルミュージアムの見学と赤レンガ倉庫周辺の散策をした。

オリジナルカツラーメンを作ることができ、大満足の一 日となつたようだ。

II日帰り旅行 II



毎週木曜日にボランティアによるパーカッショニンが行われることになった。グループ名は「サクラ」。音楽を通じた活動に参加したご利用者は有意義な時間を過ごされたようだ。

**障害福祉サービス事業所
らんまん**

《お問い合わせ》
障害福祉サービス事業所 らんまん
☎ 04 (7098) 1800

平成28年5月5日（木）、真夏を思わせるような暑い扈下がり、作業を午前中で終わらせて、皆が向かった先は富津市民の森。

こどもの日であった為、多くの家族連れが薰風に泳ぐ鯉のぼりを見に来ており、市民の森は大賑わい！場所取りを済ませたら、さあ自由時間の始まりだ。

最近ご利用者の間で人気沸騰中のバレーボールやバドミントンなどで、日頃溜まったストレスをリフレッシュ。



助成 ありがとうございました!!



グループホーム ニユース

ひとりきり体を動かした後は、無料で提供されていたとん汁を美味しい頂き、お腹も心も大満足の遠足であった。

黒須先生夫妻、鈴木先生、本当に長い間ありがとうございました。その後のご活躍をお祈りしています。



続いている千枚田。千枚田はまさに新緑の季節。ご利用者は里山の美しい景観を楽しめた。

